

8/29日 (火) の発表

報道発表資料の配付日時 8月29日 (火) 16時00分

発表項目 (行事名)	空知総合振興局庁舎及び出先機関庁舎における「北海道シェイクアウト」訓練の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道では、地震を想定した防災訓練「北海道シェイクアウト」を例年実施しており、個人や学校のほか、企業や自治体、町内会など、さまざまな単位でご参加いただいております。</p> <p>空知総合振興局においても、次のとおり実施します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 訓練日時 令和5年9月1日(金) 午前10時00分～(1分間程度)</p> <p>2 訓練場所 空知総合振興局庁舎各課執務室及び出先機関庁舎各課執務室</p> <p>※ シェイクアウトとは 2008年に米国カリフォルニア州で始まった訓練です。北海道は、2012年に都道府県として初めて導入しました。 昨年、全道で約12万人が参加しました。 定められた日時に、参加者がそれぞれの場所で、身の安全を守るための3つの基本行動「ドロップ(姿勢を低くする)、カバー(頭や体を守る場所に隠れる)、ホールド・オン(じっとして動かない)」を約1分間行うだけであるため、特別な準備は必要なく、時間もかからない大変シンプルで、かつ効果的な訓練です。</p>		
参考	「北海道シェイクアウト」は「防災の日」である9月1日(金)に実施します。シェイクアウト訓練は、その場で行うことができるので、訓練のために集合等をして実施する必要はありません。		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	北海道空知総合振興局地域創生部危機対策室 担当 主査(防災) 松田泰弥 TEL ダイヤルイン 0126-20-0033		

空知総合振興局庁舎及び出先機関庁舎における北海道シェイクアウト訓練実施要領

1 訓練目的

「災害時には、自らの身の安全は自ら守る」という防災の基本を徹底し、人的・経済的被害を軽減して「減災」に備える行動を体感し、道職員等の防災リテラシーの向上を図る。

※防災リテラシー：防災に関する知識や技術を自ら学び、活用する力

2 訓練日時

令和5年（2023年）9月1日（金）10時00分（地震発生の音源放送）～10時02分頃〔予定〕

3 訓練場所

空知総合振興局庁舎及び出先機関庁舎（以下「庁舎」とする）

4 概要

- (1) マグニチュード9.0以上の大規模な地震により大きな揺れが発生、庁舎に地震発生を放送
- (2) 各所属の訓練参加代表者等が、地震の発生を受け、速やかに安全を確保するよう指示
- (3) 職員等は「DROP（ドロップ）」、「COVER（カバー）」、「HOLD ON！（ホールド・オン!）」の順番で身の安全を確保（約1分間）



- ①DROP（ドロップ）：まず低く
- ②COVER（カバー）：頭を守り
- ③HOLD ON（ホールド・オン）：動かない（約1分間）
※周囲の状況に合わせた安全な体勢をとる。

5 対象者

- (1) 庁舎に勤務する全職員を対象とする（強制参加としない。）
- (2) 庁舎内の団体などに勤務する職員や来庁者等が参加することも可能

※団体等には所管する課より連絡し、一般の来庁者等には、事前に庁内放送により周知する

6 実施方法

庁内放送で訓練用音源を放送する（空知総合振興局庁舎においては、危機対策室防災担当職員が放送する）。

各所属は、事前に訓練参加代表者（統括主査等）を決定しておき、その者の声かけにより実施する。